

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 令和7年度 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像

社会の中で人とつながり、より良く生きる子

堺市立赤坂台中学校

校長 野口 仁志

令和7年度 重点目標

教育目標: 「ともに学び 主体的に活動する生徒」を育てる
重点取組: ◆授業改善の推進 ◆いじめや不登校の対策 ◆特別支援教育の充実 ◆学校群の取り組みを生かした「総合的な学力」の育成 ◆信頼される学校づくり

確かな学びの現状

学級・学年での集団づくりや丁寧な生徒指導の成果から、落ち着いて学習に取り組んでいる。昨年度のアンケートで「自分の意見や考えをまとめたり、発表したりする機会がある」の項目において、生徒の肯定的回答が90%を上回り、ICTを活用しながらの授業改善に取り組んでいる一方で、「学んだ内容についてふりかえり、何ができるようになったかを実感できている」の肯定的回答は60%にとどまった。今後、子どもたちがすすめる主体的な学びを大切にし、子ども自身が授業での成長を実感できるような授業改善に取り組んでいく。

豊かな心・健やかな体の現状

昨年度末の学校アンケートにおいて「人の生き方や豊かな心のあり方について考える機会がある」「生命の尊さや社会のルールを守る大切さを教えてくれる」の項目で、生徒の回答がいずれも80%を上回っており、道徳の授業や行事での取り組みにおいて、豊かな心の醸成の取り組みの効果が表れていると捉えている。一方で、SNS上でのトラブル等、相手のことを思いやれない言動によるトラブルもある。引き続き、いじめや不登校の未然防止に組織的に取り組み、生徒が主体的に活動し、自尊感情を高めていくような取り組みをすすめていく。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末) (自己評価, 学校関係者評価). Rows include '確かな学び', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

校長より(年度末)

今年度は、学年を超えての縦割り活動など、生徒が主体となって活動する機会を増やすことができ、生徒の主体性につながる教育活動を推進することができた。総合的な学力の育成に向けた授業改善の取り組みも引き続き進めていく。学校群の取り組みにおいては、教員が積極的に「小中連携」に携わり、地域や関係機関からも多くの協力をいただくことができた。次年度も「中学校区におけるめざす子ども像」および学校教育目標達成のために、地域とも連携しながら教育活動を進めていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)

学校の様々な取り組みと地域との交流が、主体的に豊かな心を持った子どもたちの育成につながっています。教員の日ごろの努力はしっかりと伝わっているように思われます。学校はアンケート結果等でも引き続き状況を把握し、教育目標の達成に向けての活動を推進してください。